

# C25 従来の攻撃プラットフォームがモバイルに変わりつつある現状と 要因について

# 以前は.. Emotet(エモテット)

## 特徴

- ・EメールのURLリンク、添付ファイルで感染
- ・C&C通信でBotネットを構築
- ・Eメールでマルウェアを配信

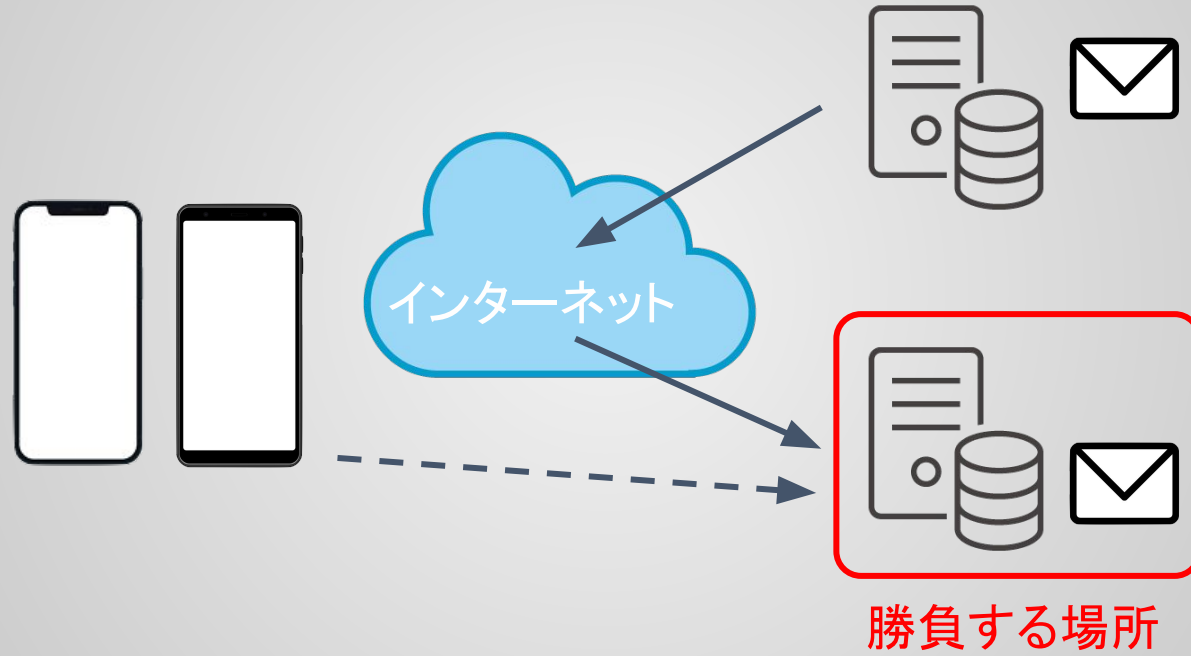
「Emotetのテイクダウン(停止措置)について」

2021年1月27日 EUROPOLによる攻撃基盤の停止

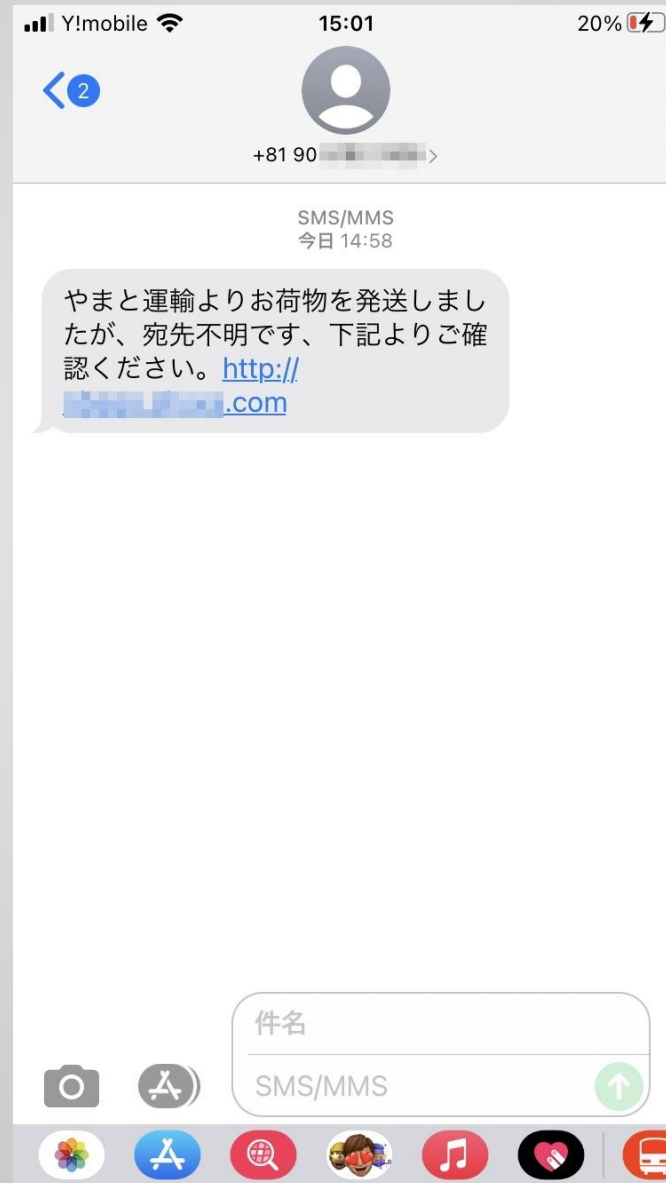
2021年4月25日 機能停止(ほぼ観測されていない)



# 以前は..



# SMSフィッシング (SMiShing、スミッシング)



# MoqHao(モクハオ)

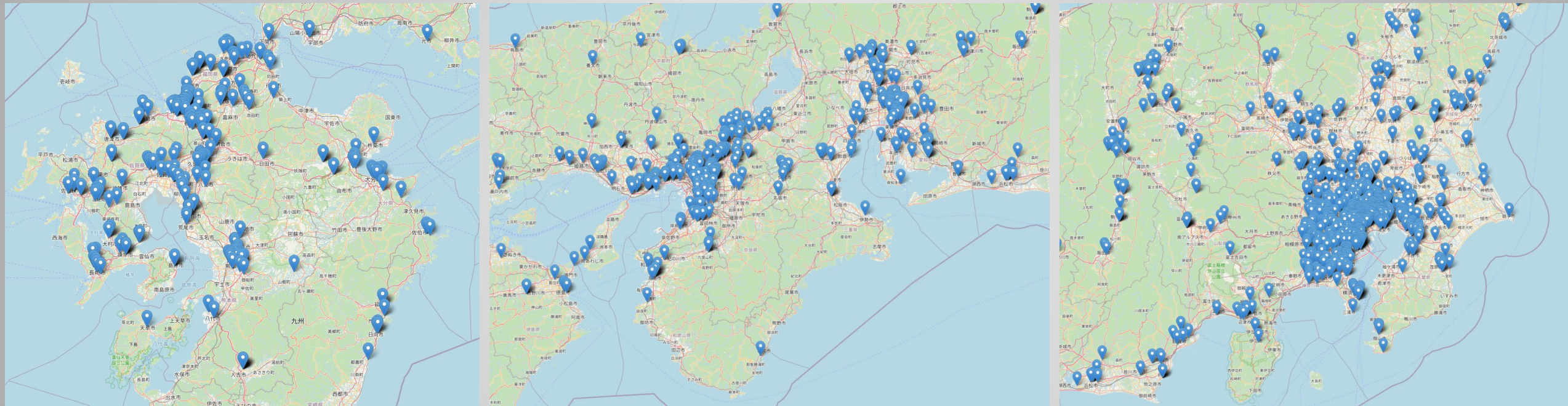
## 特徴

- ・ **スマートフォン(Android OS)**に感染
- ・ C&C通信でBotネットを構築  
(C&C通信を観測)
- ・ **SMS**でマルウェア(apkファイル)を配信  
(SMS大量送信を観測)

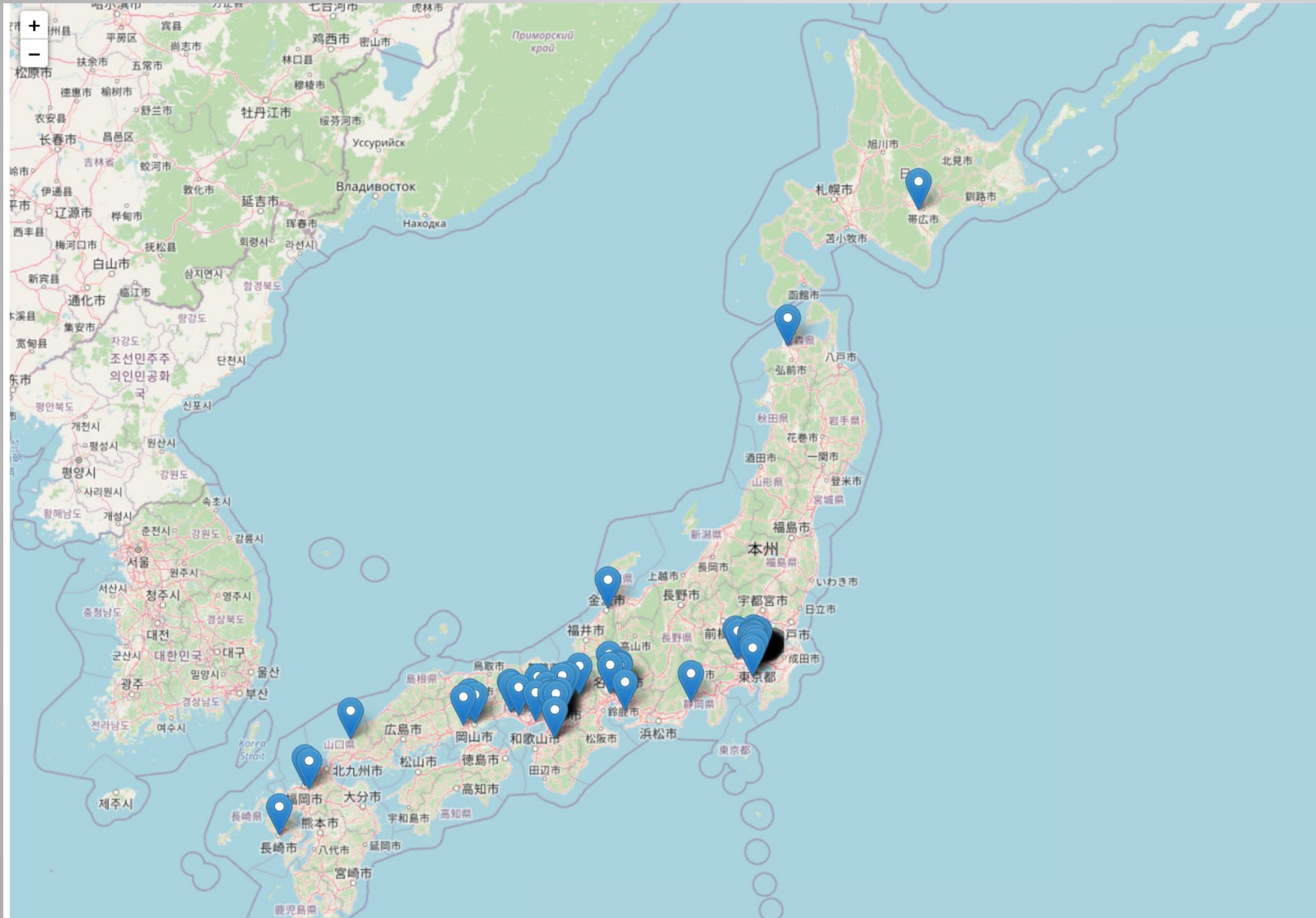




# 日本にもかなり進行している

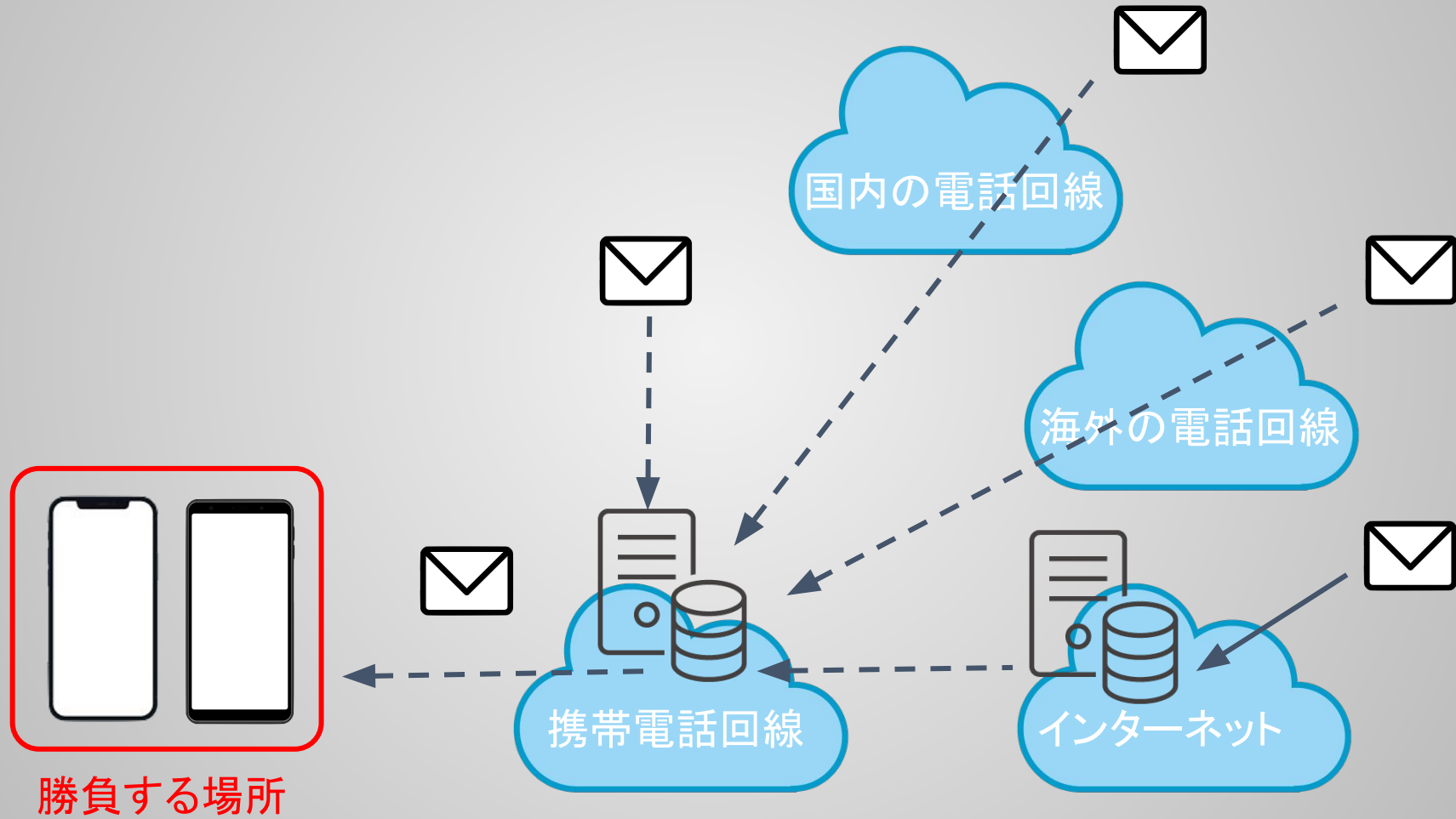


# 独自調査 ・ ・ C2はUA (2021/6/24)



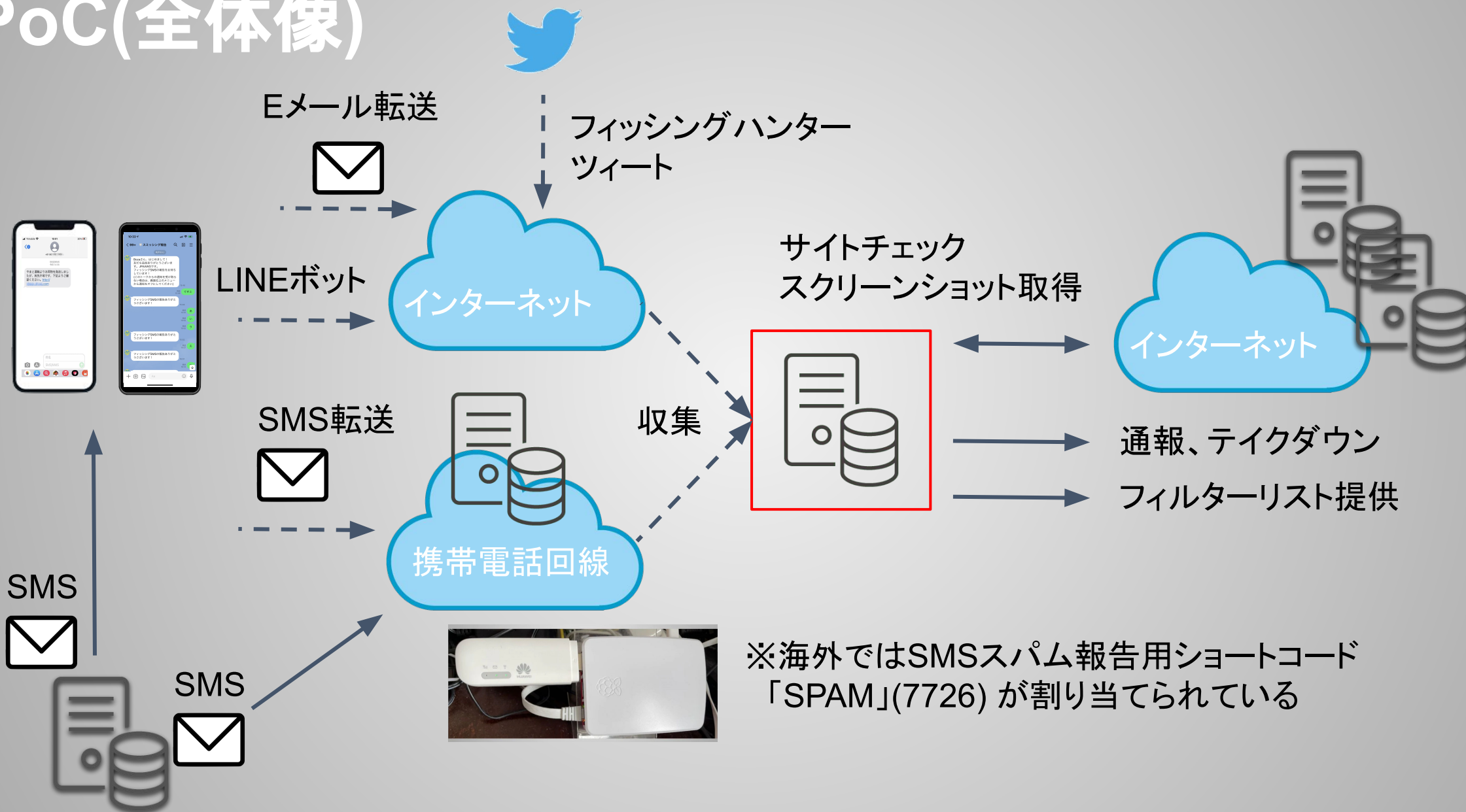


# 課題

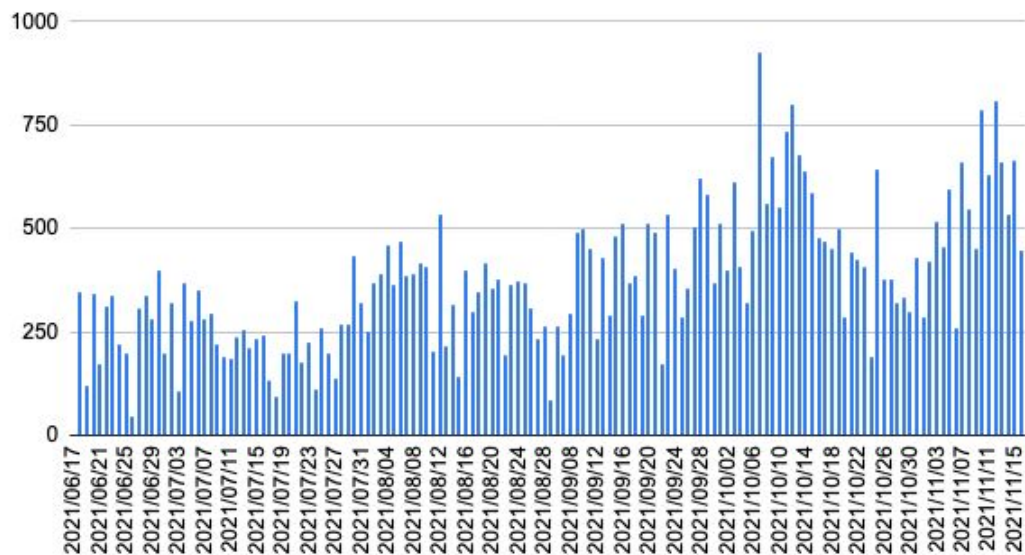




# PoC(全体像)

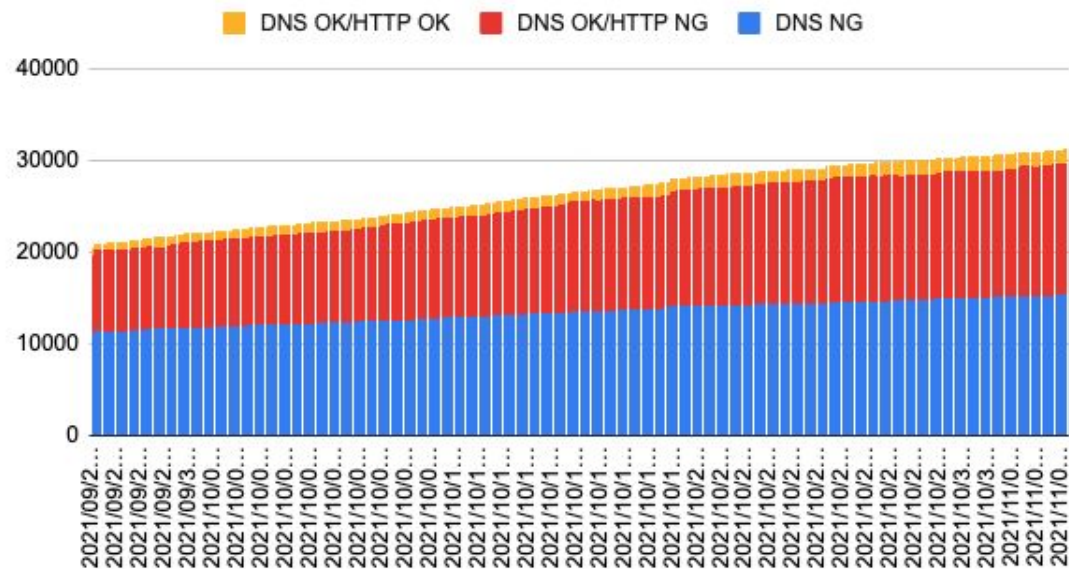


## フィッシングURL報告件数(Twitter)

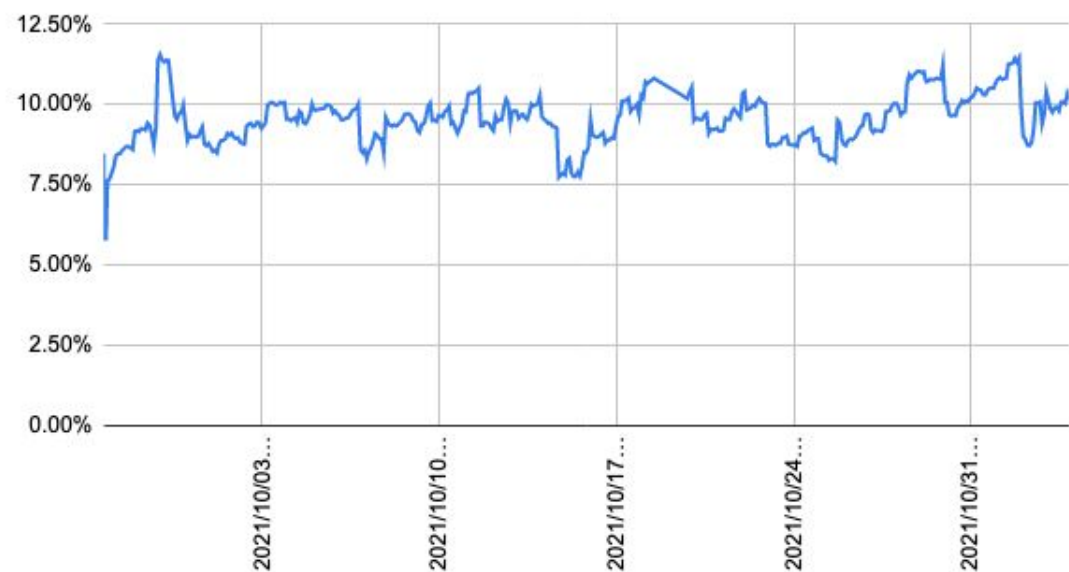


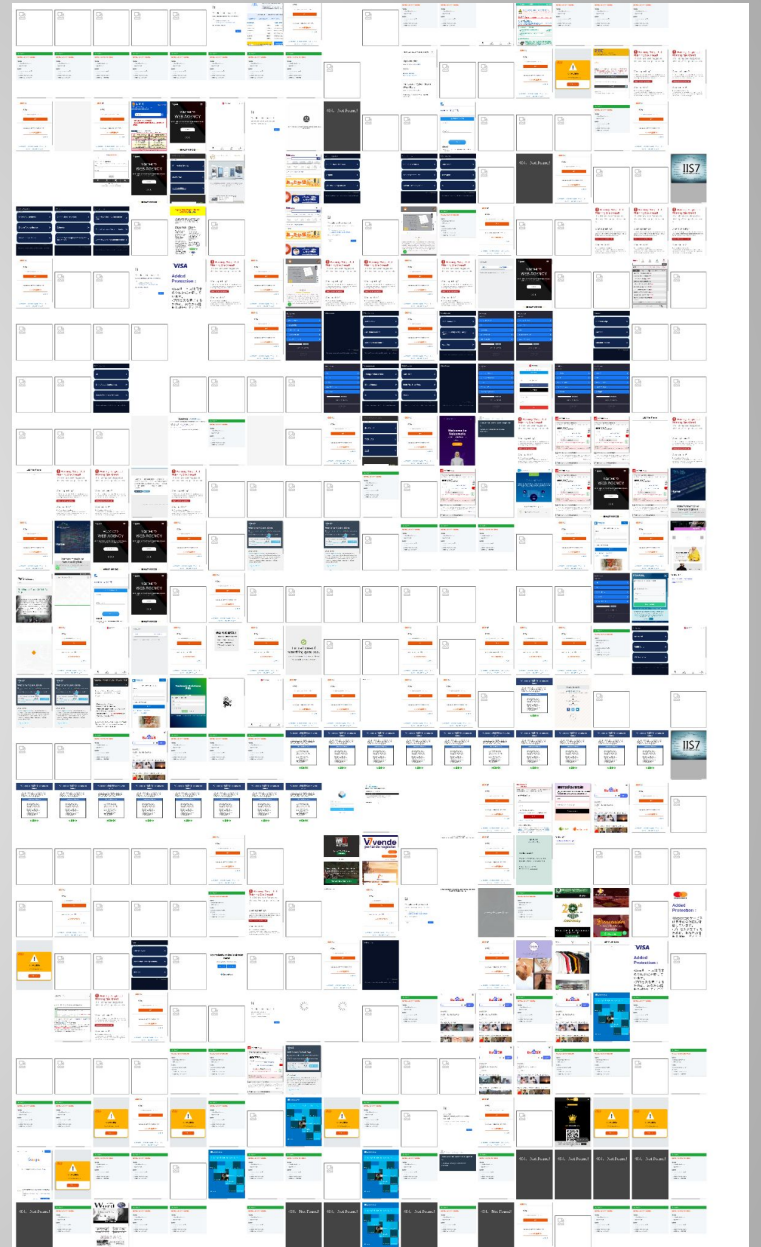
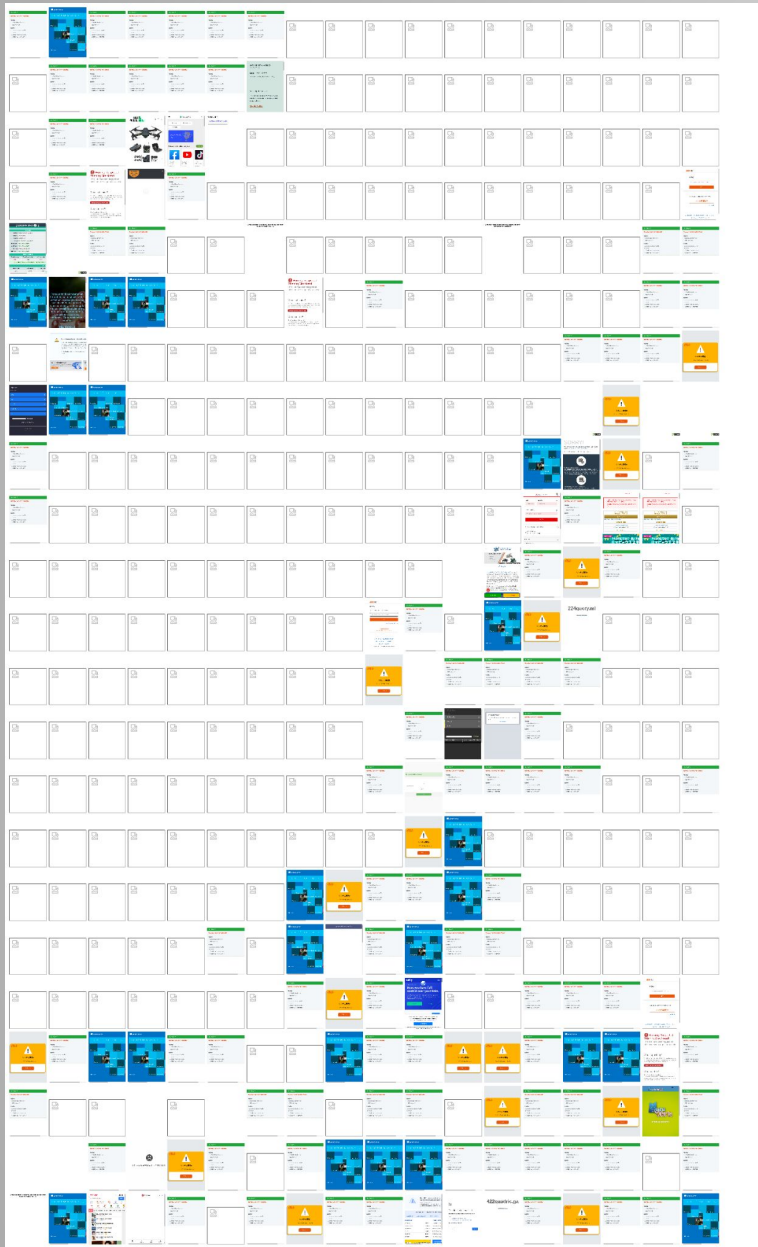
順位	ブランド名	登録件数
1	三井住友カード	2069
2	ドコモ	1867
3	ETC利用照会サービス	1312
4	PayPay銀行	548
5	SMBC/三井住友カード	468
6	SoftBank	357
7	au	349
8	メルカリ	338
9	ヨドバシカメラ	329
10	ビックカメラ	310
11	JCB	257
12	KDDI	196

## フィッシュサイト稼働状況(Twitter)



## 稼働率(Twitter)







# フィッシングハンターからのお願い！ 『見分けようとしなさい！』

## ■本物のURLと偽物のURLを見比べてみよう

<パターン①:そっくり>

本物: <https://www.smbc-card.com/mem/index.jsp>

偽: <https://www.smbc-card.com.mem-index-jsp.vip>

<パターン②:正規ドメイン.~~~>

本物: <https://www2.cr.mufg.jp/~>

偽: [https://www2.cr.mufg.jp.ttakasua4\[.\]tokyo](https://www2.cr.mufg.jp.ttakasua4[.]tokyo)

## ■「http」か「http**s**」かの違いで判断はできない

## ■TLD(トップレベルドメイン)での判断は危険

例1: [mercarl\[.\]jp/secure\\_center/material](http://mercarl[.]jp/secure_center/material) (メルカリのフィッシングサイト)

例2: [saison\[.\]updated\[.\]jp](http://saison[.]updated[.]jp) (シーズンカードのフィッシングサイト)

- ・本文に記載されたURLにはアクセスしない
- ・アクセスする際は登録済みのお気に入り等から





**JPA**AWG